「電子出版コンテンツ流通管理コード(仮)」

仕様書案

2011年5月版 社団法人日本雑誌協会

1 目的

仕様書案は、出版業界における、電子出版コンテンツ流通管理コード(仮)の共通化を目的とし、適正な運用に資するために策定する。

2 コード名称

「電子出版コンテンツ流通管理コード(仮)」とする。 ※正式名称は、国内外の標準化(共通化)の検討過程の中で決定する。

3 コード定義

今回策定するコードは、「電子出版物の流通管理における出版社(者)が付番する共通のユニークコード」とする。

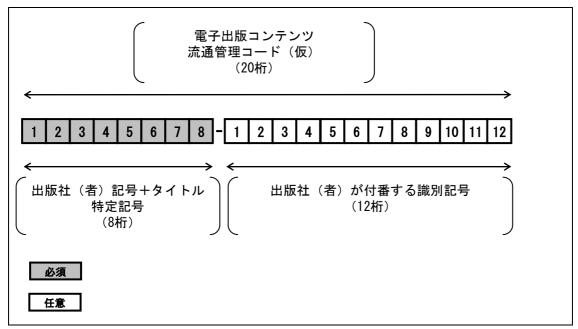
4 コード範囲

本コードを付するコンテンツ等は、電子出版物とする。

5 コード構造

電子出版コンテンツ流通管理コード(仮)は、「出版社(者)記号+タイトル特定記号(8 桁)」+ 「出版社(者)が付番する識別記号(12 桁)」の全20桁で構成する。

利用できる文字は、数字 (0-9) 、英字 (A-Z、a-z) とする。



資料1 コード構成(全体)

6 コード仕様

(1) 共通

- ・頭8桁部分で出版社(者)とタイトルを特定する。
- ・出版社(者)が「各出版社(者)で決める取引単位」に付番する。
- ・タイトルの定義は下記のとおりとする。

書籍、コミック: 巻単位雑誌: 号単位

- ・付番の推奨ガイドラインを公開する。
- ・タイトル特定記号と識別記号には、数字以外にアルファベットの使用を可能とする。

(2) 出版社(者)記号+タイトル特定記号(8桁) (必須項目)

- ・当該電子出版コンテンツの発行元とタイトルを示す。
- ・ISBN の定義の考え方の一部を利用する。但し、底本の ISBN を持たない電子出版物については異なる。
- ・「出版社(者)記号」(2~7桁)+「タイトル特定記号」(残桁数)で構成する。 例)出版社(者)記号3桁の場合は、残り5桁が「タイトル特定記号」となる。

1) 出版社(者)記号

原則として、ISBN (International Standard Book Number、国際標準図書番号)の出版社(者)記号を付与する考え方を利用する。

■参考: ISBN コード付与の方法

ISBN コードの「国番号」および「出版者記号」までは、日本図書コード管理センターが出版者に発行し、あらかじめ固定化しているため、出版者自ら記号や数列を自由に変更することはできない。

なお、「書名記号」および「チェック数字」は ISBN コードのルールに基づき、出版者の責任において、出版者自らが作成し固有の書籍ごとに付与することとなっている。

日本図書コード管理センターでは、以下(ISBN 出版者記号の通知)の文書を申請登録者宛てに発行している。

ISBN出版者記号のお知らせ あなたの第 1 次ISBN出版者記号を XXXXXX に決定しました。 したがってあなたの発行する書籍のISBN番号は 9 7 8 - 4 - XXXXXX - □□ - □ 日本の あなたの 書名記号 チェック数字 国記号 出版者配号

出典:日本図書コード管理センター「ISBN コード/日本図書コード/書籍 JAN コード利用の手引き 2010 年版」

資料 2 ISBN 出版社(者)記号の通知

2) タイトル特定記号

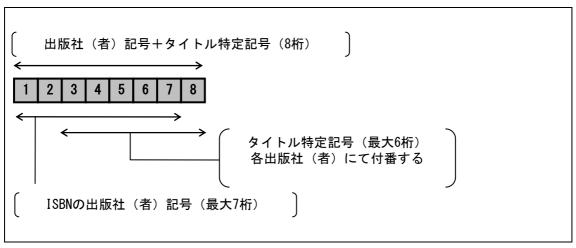
タイトル特定記号とは、書籍、コミック等であれば巻数を表し、雑誌であれば号数を表す記号である。

- ①底本に ISBN を持つ書籍、コミック等の場合
- · ISBN を底本として持つ書籍、コミック等は底本 ISBN の書名記号を使用することが望ましい。
- ②ISBN を持たない雑誌、デジタルオリジナルコンテンツの場合
- ・タイトル特定記号に数字以外にアルファベットが使用可能である。
- ・タイトル特定記号には必ず 1 文字以上アルファベットを使用することが望ましい (=ISBN をもつ書籍、コミック等との区別となる)。

タイトル特定記号の付番は各出版社(者)に委任する(ISBN の書名記号も各出版社(者)が付番している)。

例) A社(4桁+4桁): 社内発行決定順に付番

B社(2桁+6桁):シリーズコード3桁+社内発行決定順3桁



資料3 コード構成(出版社(者)記号+タイトル特定記号)

(3) 出版社(者)が付番する識別記号(12桁)

出版社(者)が付番する識別記号であり、原則、各出版社(者)にて取り決める自由記号とする。